

# 多文化共生と日本語教育

Multicultural Symbiosis & Japanese Lesson



皆さんは、「多文化共生」を聞いたこと、目にしたことがありますか？

また、外国籍の方との交流経験はありますか？

「多文化共生」とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと」。

坂祝町は、全体人口8,160人のうち、外国籍の方の人口は535人(令和2年10月末時点)。割合にすると、6.5%で岐阜県内でも外国人割合が多い町となっています。

坂祝町では、令和元年度～令和2年度にかけて本格的に、日本語教育事業に取り組み始めました。(写真2、3、4、5)

今年度は坂祝町から3団体へ企画・運営を依頼し「親子で学ぶ日本語教室」「生活の日本語教室」「多読で学ぶ日本語教室」「職場で役立つ日本語教室」の4種類の教室を行いました。全体の受講者の延べ人数は約50人。その中で今回は「職場で役立つ日本語教室」の様子を紹介します。

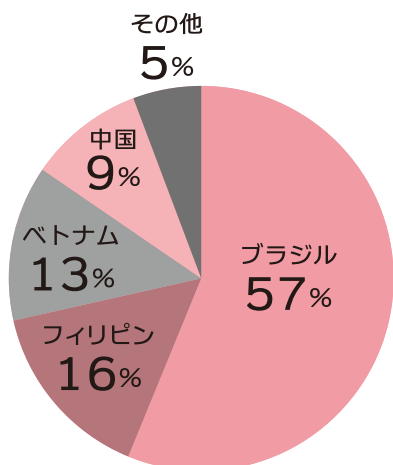
「職場で役立つ日本語教室」は、10月～12月にかけて計10回。毎週月曜日の夜7時00分～夜8時30分に開講しました。受講者は、町内で働いている方、町内・近隣に居住している方など日本語のレベルも様々でした。講師には『中日本自動車短期大学 留学生別科 教授 古川竜治氏』をお願いをし、教室で使用する教材作成から携わっていただき、職場に必要な基本～応用・文法を学習しました。(写真6)

教室では実際に1人ずつ声に出したり、文字で書いたり、確認のテストをしたりと充実していました。

教室には外国籍の方だけではなく日本人のサポーター(ボランティア)3名の方も毎回参加していただき、マンツーマンでサポートし、すぐに質問できる体制を取りました。(通訳1名配置)

10回目では、授業の参加率8割の方に一人ずつ修了証を渡し、講師と写真撮影をし、またどこかで会えることを約束し教室を終えました。(写真1)

## 令和2年10月末時点の 国籍別人口割合



「写真1：修了証授与を記念して」



写真4 [生活の日本語教室]



写真2 [職場で役立つ日本語教室]



写真5 [多読で学ぶ日本語教室]



写真3 [親子で学ぶ日本語教室]



他の教室でも日本語や文化、マナーを学習しにたくさんの外国籍の方が受講され、それぞれの教室にも日本人のサポーターが参加しコミュニケーションを図りながらサポートしてくれています。

実際に、教室を開講してみると母国にはない言葉や母国と同じ呼び方でも意味が全く違うなど、外国籍の方も日本人も学習できる場面がたくさんありました。

外国籍の皆さんは「日本語はとても難しい。でも分かると楽しい。」と話しており、日本人と積極的に会話をしたいことが分かりました。

日本人の皆さんも外国籍の皆さんも日常生活において少し勇気を出して会話をするのはいかがでしょうか。

現在は新型コロナウイルス感染症拡大により活動を控えている部分もありますが、近い将来日本人と外国籍の方が対等な交流ができるような、外国籍の方主催のイベントが開催できればと望んでいます。

「写真6：教材」



こんにちは...  
ありがとう

### 【日本語教室ボランティア募集】

今後、外国籍の方と交流を図ってみたい、サポートしたい、興味があるという方、ぜひ一緒に活動しませんか？  
来年度も日本語教室を開講する予定です。  
皆様のサポートをお待ちしております。  
※日本人向けのサポーター養成講座も実施予定です。  
(お知り合いの外国人で教室を探している方が見えたら、一度お問い合わせください。)

問い合わせ先

企画課 ☎66-2411